

一期一会

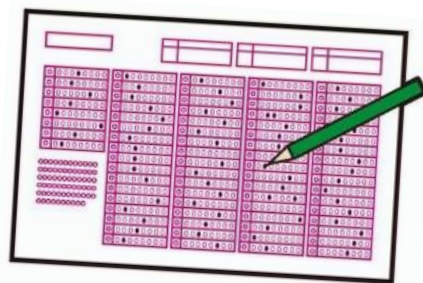
大学入試共通テストとマーク模試について

1月13日(土)・14日(日)の2日間、大学入試共通テストが実施され、本校3年生も受験しました。国公立大学への進学を目指している人にとっては避けては通れない試験です。近年では共通テストを利用した入試方法を採用している私立大学も約9割に上り、国公立・私立を問わず、大学に進学するための第一関門となります。

知らない人が意外と多いのですが、**共通テストの正式な点数は受験者本人には教えてくれません。(※高校側もわかりません。)** 受験者本人の自己採点の点数を頼りに担任の先生と相談しながら個別試験(二次試験)の出願先を決定していくことになります。自己採点の点数が実際の点数と異なると、出願の際の基礎資料(合否判定)や個別試験で押さえるべき得点率にも大きく影響することになります。つまり、**自己採点が正確にできることはとても重要なこと**なのです。

今はまだ県模試も記述式なのですべてを正確に自己採点することは難しいですが、2年生の3学期からはマーク式の模試も入ってきます。マーク模試を受験する際に一番大事なことは、自身の持つ力を十分に発揮することに加え、**自己採点の点数と返却された実際の点数が一致していること**になります。マーク模試では、自己採点の点数がいかに正確に出せるかのトレーニングであることも覚えておいてください。

話は共通テストに戻りますが、みなさん“問題は見た”もしくは“解いてみた”でしょうか。センター試験から共通テストに変わり、4年目を迎えました。どの科目も文章、会話文、資料、図説やデータなどの分量が大幅に増え、すべてを解答するのに時間が足りない、ギリギリだったという話もあちこちで耳にします。共通テストでは、教科書の内容(語句)を覚えるだけでは容易に解けない出題の割合が多くなり、学習した内容や知識をもとに、リード文を多面的に読み取り考察しながら正答を導く力が求められます。本番までの二年間、みなさんもそれを意識した日々の学習に取り組んで欲しいと思います。



IPT 探究活動



1月よりIPTでは、探究活動の進めかたについて学んでいます。県内の高校だけでなく、全国的な流れとして探究活動が重要視されています。大学の入試方法も、一般入試の枠を減らして、探究活動を利用した推薦入試(総合型選抜、学校推薦型など)枠を増やす大学も増えてきています。この流れは、今後も拡大していくと予想されます。学校で取り組んだ探究活動を使って推薦入試のプレゼンに臨むことも可能性としては大きくなります。また、探究活動で取り組んだことで大学の学部選択のきっ

かけになるかもしれません。

探究活動には、①課題の設定、②情報の収集、③整理・分析、④まとめ・表現の行程があります。

- ①課題の設定：これが一番大事で難しい…、その後の行程がうまくいくかどうかもここにかかっている。
- ②情報の収集：どんな情報を集めるのか、どうやって集めるのか計画的にやらないと必要な情報は集まらない。学校外の方たちにもご協力していただかないといけないので、失礼のないように。
- ③整理・分析：集めた情報をどう整理して分析するのか。
- ④まとめ・表現：時間をかけてやってきたことも、プレゼンで聞いている人たちが興味を持って聞いてくれて、理解をしてくれないと全てが無駄になるかも…。

2年生から本格的に始まる探究活動がより充実したものとなるよう、やり方のコツを身につけるようにしましょう！

2月行事予定

3日(土)	全統模試(希望者)
5日(月)	第3回清掃週間
8日(木)	ワックスがけ
19日(月)	4時間授業
20日(火)、21日(水)	登校禁止
22日(木)	4時間授業 生徒会役員選挙公示
23日(金祝)	土曜講座⑥
26日(月)	学年末考査時間割発表

1年学年会へのご意見はこちらに



今後とも保護者の皆様のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます

学年通信の感想や学校生活全般に関するご意見ご質問がありましたら、1年学年会へのご意見投稿フォームも、ぜひご活用ください。